

川面に映る電球の明かりが大岡川を美しく演出した
—横浜市中区黄金町(花輪 久写す)

安心生む街明かりへ

暗がりを照らす 街づくり実験 電球を100個設置

横浜・黄金町

県警の歓楽街総合対策が進む横浜市中区黄金町地域で二十四日、路地の暗がりを照らす街づくり実験「初黄・日ノ出町

実験」がスタートした。夢あかり「新たな街の光環境を目指して」が始まった。特殊飲食店一掃後の閑散とした通りや大岡川を照らすことで、街をイメージアップし、安心感を生み出す狙いだ。初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会の主催。区

暗い部分や街角に置き、電球を設置。道路脇の薄暗い部分や街角に置き、街の骨格を浮かび上がらせた。

「人の生活をうまく表現できれば街特有の光になっていくと角館さん。同協議会は「街が変わったという印象を持ってもらいたい」と期待を寄せた。

点灯は、二十八日までの日没から明け方まで。実験後は、効果を検証し、街づくりの方向性を話し合うという。

(柏木 智帆)

黄金町に“夢あかり” 大岡川沿い町内に照明

照明で文字通り街を明るく。初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会などは二十四日、横浜市中区黄金町などで街を照らす実験「初黄・日ノ出町 夢あかり」を実施した。旧特殊飲食店街が並ぶ町中や大岡川沿いに置かれた電球などの照明は約100個。武蔵工業大の学生らが設置した。大岡川沿いでは、照明が水面に映り、水辺の雰囲気演出された。照明をプロデュースした角館政英さん(41)は「人の生活感を出すことで防犯効果もある。街づくりのきっかけになれば」と期待する。地元住民からは「気分が明るくなる」と歓迎の声が上がった。点灯は日没から明け方。26日まで。

【池田知広、写真も】



人通りの少ない街路に設置された照明—横浜市中区黄金町で

↑
大岡川

→
04

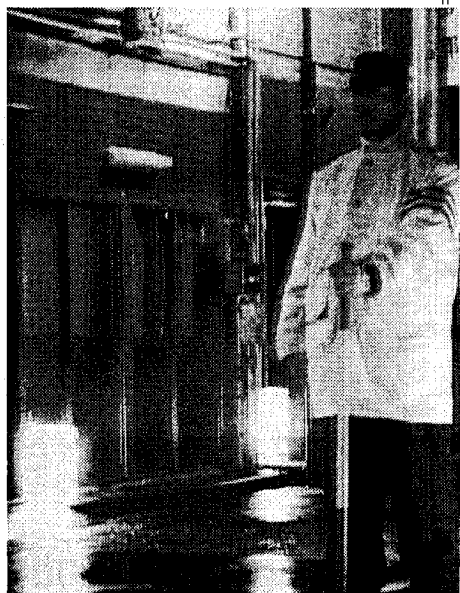
産経



生まれ変わる夜の黄金町

「夢あかり」で街の浄化促進を。県警による売春店の摘発作戦「バイバイ作戦」が続く横浜市中区黄金町周辺で二十四日夜、ライトアップの試験点灯が行われた。写真。ほのかな明かりに浮かび上がったかつての風俗街は幻想的で魅力的な町に生まれ変わった。二十六日まで。

照明の演出を手掛けたのは、住宅や建築などの



きょうまでライトアップ

照明家として活躍する武蔵野美術大非常勤講師の角館政英さん(四〇)。「夢あかり」をコンセプトに、同地区を流れる大岡川沿い約五百竈に約百個の照明を点灯。観光客らが散策しやすいムードを醸し出した。

角館さんは「官民一体で取り組むことが大切。今後の街づくりの方向性を決めるきっかけになれば」と話した。

朝日



歓楽街に「光」
大学生ら試み
黄金町できょうまで
県警の歓楽街総合対策

が進められている横浜市中区の黄金町地域で24日、周辺一帯をライトアップする試みが始まった。写真下。

初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会の主催。照明家の角館政英さん(41)や武蔵工業大などの学生約20人が中心となり、「夜間でも安心して歩けるように」と和紙や木のかごで覆った電球約100個を設置した。

同大建築学科3年の高畑加奈子さん(22)と河村優子さん(21)は「最初は怖いイメージしかなかった場所だったけれど、地域の人も喜んでくれたのでよかった」と話した。

点灯は26日まで。効果も調査して、今後の街づくりを生かしていくという。